

未来を生き抜く力と健やかな「からだ」の育成

チーム武庫

10月号

三田市立武庫小学校長 松田文貴

《学校行事について》

本日、10月1日（金）をもって緊急事態宣言が解除されました。まん延防止等重点措置の心配もありましたが、全面解除になっています。しかしながら、修学旅行や自然学校が影響を受け、延期になりました。修学旅行は12月に同じ行程で京都方面に向かいます。自然学校は2泊3日と校区内での2日間の合計5日間を予定しておりましたが、宿泊なしの2日間と校区内活動3日間の5日間に変更になりました。

実施日の変更だけでなく、内容の組みなおし、旅行業者やバス会社、受け入れ施設との交渉などもやり直しになるため、緊急事態宣言下の変更は大変なものでした。しかしながら、保護者の皆様にご理解いただいたこと、子ども達も与えられた状況で柔軟に対応してくれていることで、何とか実施にたどり着けそうです。あらためて感謝申し上げます。

影響を受けたのは、運動会や音楽会といった校内行事も同じです。練習期間の確保が難しくなったり、活動に制限がかかったりしたため、例年通りの運動会や音楽会が実施できません。特に音楽会は呼気が発生する合唱や楽器演奏が制限されているため、練習ができない時期が続いています。今後、宣言解除を受けても、積み重ねがない分練習が進みませんので、工夫をしながらの実施になります。その他の学習活動についても、一気に元通りとはいかないことが予想されます。引き続き、工夫しながら教育活動を展開していきますので、ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

【自然学校】

9月16日（木）に校内自然学校を実施しました。この日は藍染め体験と竹とんぼ作り、焼杉細工です。午前中は体育館横で用意したTシャツをぐるぐる縛り、染料が入ったたらいにつけてよく絞り、天日干しにしました。その後、教室でナイフを使って竹を削りました。初めてのナイフでこわごわ削る様子も見られましたが、大きなけがもなく、無事に完成。飛ばすのは翌日以降になりましたが、運動場で楽しく試験飛行？ができました。午後は焼杉細工です。あらかじめ焼いて真っ黒になった杉板をやすりやタオルで磨き上げ、ピカピカになったら絵の具でデザインを施します。上手にできなくても、失敗しても、世界で一つだけの壁掛けが出来上がりました。大事な宝物にしてほしいです。

今月末には陶芸体験を予定しています。無心に土に触れる、力を入れて土をこねる、丁寧に形成していく体験を大切にしてほしいと思います。

11月にはカヌー体験、基地創り体験、野外炊事やキャンプファイヤーが控えています。それぞれの活動を通して、協力することをはじめとした人とのつながりを感じ取ってくれることを期待しています。



【中庭にはためくTシャツ】



【運動場で板みがき】

【運動会】

10月に入り、各学年、運動会に向けた取り組みも少しずつ始まりました。今年も昨年度と同じように、走競技と表現運動です。学年に応じたダンスや集団体操を考え、練習を始めています。どんなふうになれば楽しくできるのだろう、美しくできるのだろう・・・これからいろいろ考えながら学んでいってほしいと思います。自分たちの手で作り上げる運動会になるように、運動場も少しずつ準備を始めています。



【1・2年生による石拾い】

【音楽会】

リコーダーや鍵盤ハーモニカの学習が十分にできないため、卓上のキーボードを使って音楽の授業を進めています。リズムをとること、楽譜に合わせて指を動かすことなどを中心に学んでいます。どのような演奏になるのか楽しみです。音楽会は体育館の中で行いますので、密を避けることをはじめ、感染予防をしながらの取り組みになります。詳しくは別途お知らせしますので、昨年度同様、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《環境を整える》

物事の習得を進めるには、環境を整えることが大切です。活動がしやすい環境、やりたくなる環境、取り組むために必要な準備・・・これらすべてが習得のための環境であると考えます。学びの場の雰囲気はとても大切で、それが整えば、子どもたちの意欲は高まり、充実した学びにつながります。

学びたくなるような環境や雰囲気を整えるために、学校ではいろいろな取り組みを進めています。まずは教室です。子どもたちの下校後に、教室を掃除し、整理整頓をしています。机の並びやロッカーの中など、整った環境はとても大切です。学年が上がると、帰る前に「整頓タイム」を取っているクラスもあります。落ち着いた雰囲気、整然とした雰囲気であれば、集中力も高まるのではないのでしょうか。

活動がしたくなるような場の設定も大切です。読書をするなら、読みたくなるような本をそろえる、スポーツをするなら関係のある写真やニュースを用意する、教科書に出てくるものの実物を用意する・・・さまざまな場設定が考えられます。授業を進める先生たちの立場からすると、どのような内容をどのような順番で学習していくのか、教材を作るのも学習環境を整えるための大切な準備です。

学ぶ側（子どもたち）からすると、身の回りの整理整頓をすること、鉛筆や消しゴム、定規などの学習用具を整えることが大切な環境整備です。さらに「忘れ物をしない」こと、これが最も重要です。グラブやバットを忘れると野球はできません。水着を忘れると水泳はできません。ユニホームを忘れると試合には出られません。忘れ物を減らすことは学びの環境を整えるうえでとても大切です。ところが忘れてしまうのが子ども達です。ここはお家の方の協力が大きなウェイトを占めます。「自分で」できるようになるまでは、今しばらく力を貸してあげてください。子どもたちの学びのために、よろしくお願いいたします。



【放課後の教室掃除】



【表現運動の練習】



【ソファで絵本読み】